

CLUSTERPRO X SingleServerSafe

製品御紹介資料

2014年7月
日本電気株式会社
システムソフトウェア事業部
CLUSTERPROグループ
(グローバル・プロモーションチーム)

目 次

可用性向上のニーズ

CLUSTERPRO X SingleServerSafeのターゲット

アピールポイント

回避できる障害 (監視イメージ)

オフラインで設定情報作成 (簡単インストール & 設定)

障害発生時の通報・サポート

運用面のこだわり (画面イメージ、操作イメージ)

利用シーン

製品ラインナップ

お問い合わせ先

製品紹介

可用性向上のニーズ

- 可用性の要求は従来の基幹システム中心から、部門サーバ、店舗サーバへ拡大。
- 複雑化、高機能化する現代IT社会において、サーバダウンの影響は計り知れない。
- 近年のローエンドからミドルレンジにおけるWindowsサーバ、Linuxサーバの活用は定番化し、更なる可用性、運用性向上に対するユーザのニーズは高まっている。



CLUSTERPRO X * のノウハウをシングルサーバへ応用

CLUSTERPRO X で培われたノウハウを最大限利用し、
シングルサーバでも耐障害性と可用性の向上を可能に。

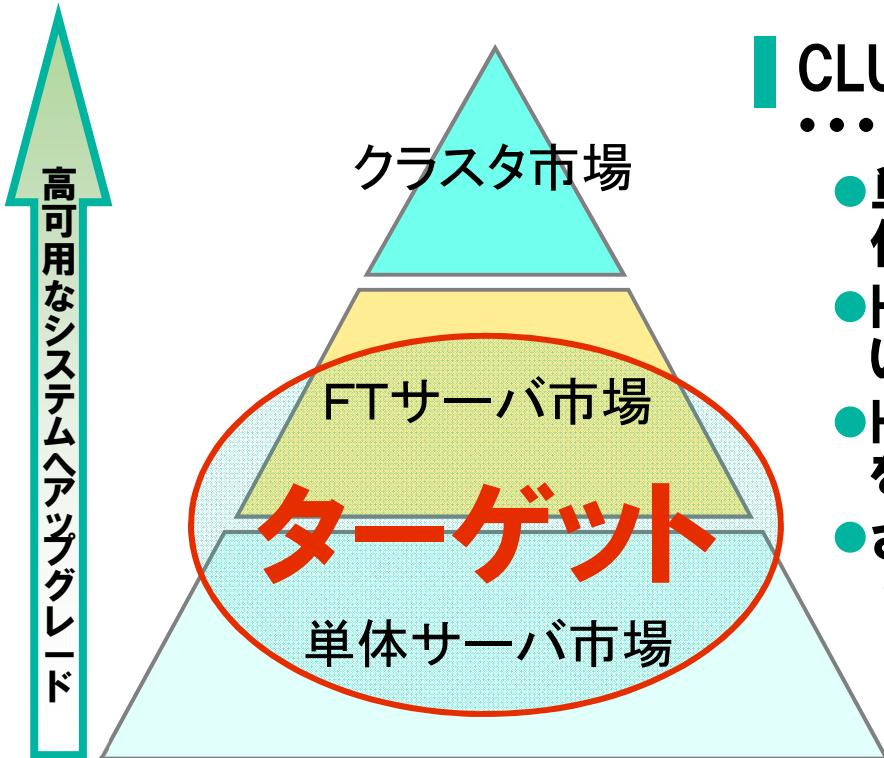
* ... シェアNo.1 国内開発・保守のクラスタリングソフトウェア



CLUSTERPRO X SingleServerSafe

CLUSTERPRO X SingleServerSafeのターゲット

止まると困るサーバの障害回避はどのように対処されていますか？



CLUSTERPRO X SingleServerSafeは
....

- 単体サーバにおいて必要なところだけ二重化を行い、可用性を向上！
- HW、SWの異常を監視して、復旧処理を行い、可用性を向上！
- HWが二重化されたFTサーバもSWの可用性を向上させて、さらに高信頼サーバに！
- さらなる可用性向上のパスを用意（クラスタシステムへアップグレード可能）

クラスタに比べ簡単に導入でき、障害回避力を高めます

アピールポイント

シングルサーバを支える3つのS機能

- **S** サービス異常終了時に再起動ができる！
 - ・サービスだけでなくユーザ・プログラムの死活監視もできる！
- **S** ストール検出ができる！
 - ・OSはもちろんアプリケーション(*)のハングアップを検出し再起動ができる！
- **S** SGが簡単！インストールも簡単！
 - ・CLUSTERPRO Xと同じ構築方法、管理方法を提供

監視端末の設定が不要

- Webブラウザを使用して監視先サーバの状態を見ることができる
- Webブラウザだから遠隔地からの操作も可能！

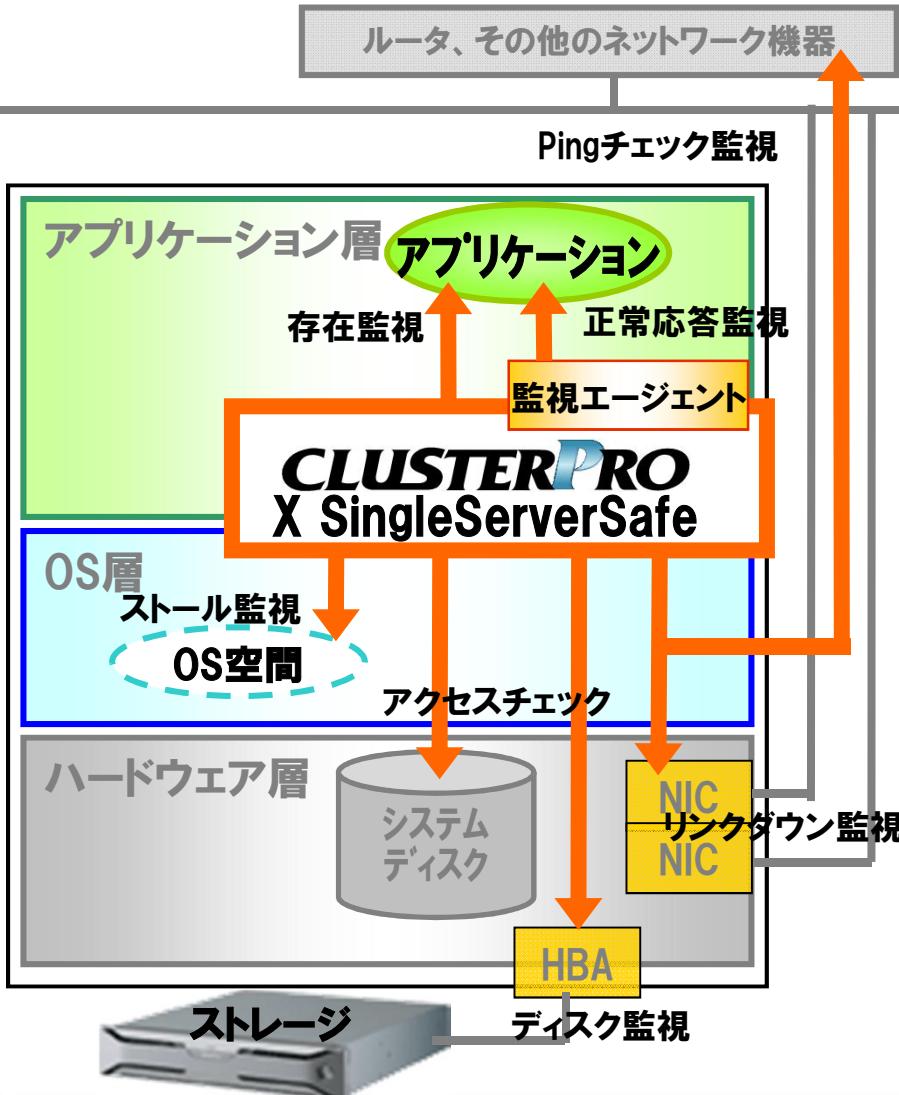
NEC自社開発

- ユーザサポートも安心！

(*) オプションのCLUSTERPRO X監視Agentにより可能。

回避できる障害

業務ができる状態なのか？を実アクセスで監視するから精度がよい



アプリケーション層：

- プロセスの存在監視
 - ・プロセスの異常終了を検出すると再起動を行う
- 監視エージェント
 - ・SQLやHTTPなどの異常を検出すると再起動を行う

OS層

- ユーザ空間監視
 - ・AP層のハングアップなどの異常を検出すると、再起動(リブート)を行う

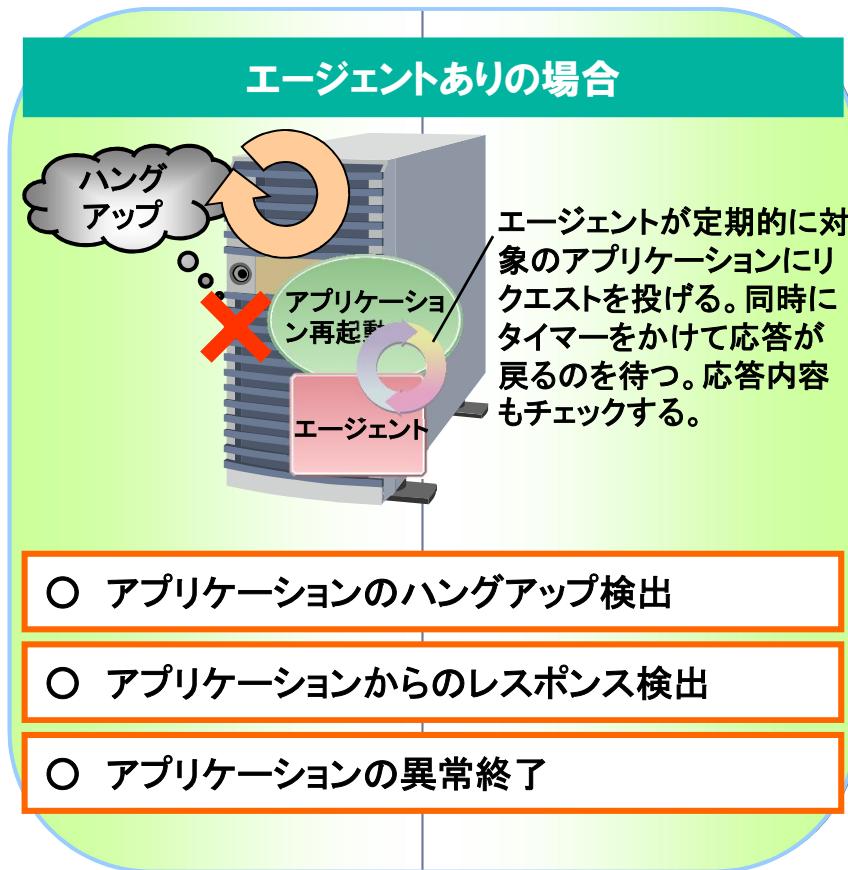
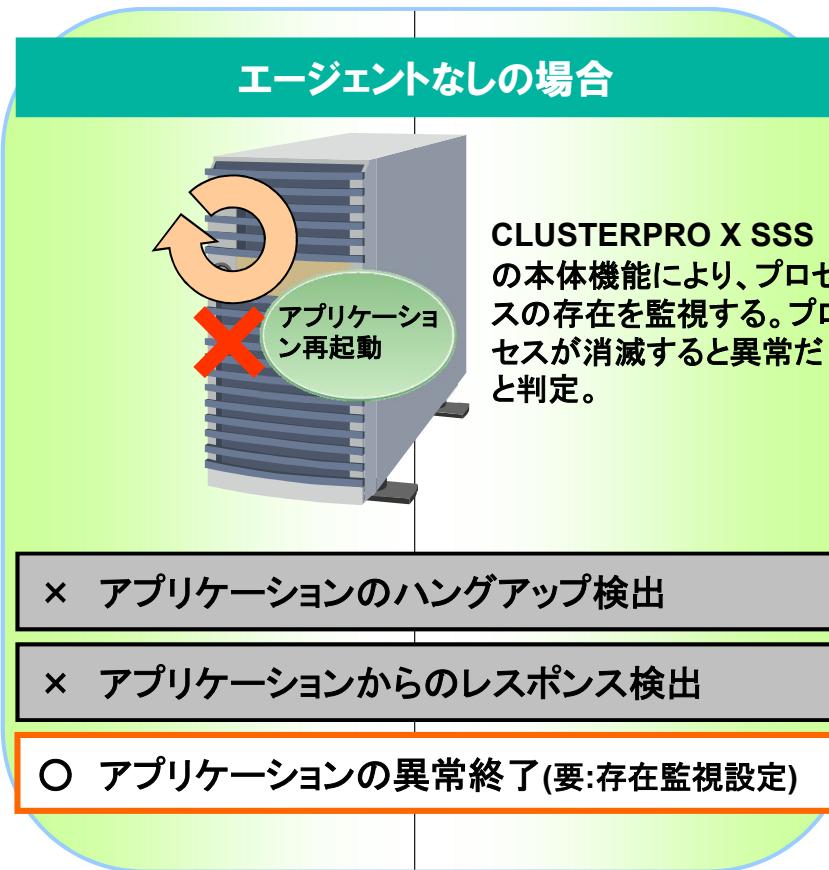
ハードウェア層

- ディスク監視
 - ・ディスクアクセスの異常を検出すると再起動(リブート)を行う
- Ping監視
 - ・pingの異常を検出すると再起動(リブート)を行う
- NIC Link UP/DOWN監視
 - ・リンクダウンを検出すると再起動(リブート)を行う
 - ・NIC二重化で可用性を向上させることも可能

監視エージェントの効果

■ アプリケーション特性に応じた監視ができ、可用性が向上

- CLUSTERPRO X と同じ監視エージェントが使えます



※監視エージェントの併用を強く推奨します

エージェントの監視対象

大切なアプリケーションのハングアップや異常状態まで詳細に監視します！

利用ケースの多い、6つのカテゴリーに対応

データベース (Database Agent)

Windows

Oracle, SQL Server, DB2, ODBC, PowerGresなど

Linux

Oracle, MySQL, PostgreSQL, PowerGresPlus, DB2, Sybase

Solaris

Oracle, MySQL, PostgreSQL

ファイルサーバ (File Server Agent)

Linux

Solaris

Samba, NFS

アンチウイルスソフト (Anti-Virus Agent)

Windows

ウイルスバスター コーポレートエディション

インターネットサーバ (Internet Server Agent)

Windows

IIS, SMTP/POP/IMAP4, HTTP,HTTPSなど

Linux

apache, httpd, sendmail, postfix, popdなど

アプリケーションサーバ (Application Server Agent)

Windows

Linux

WebLogic, WebSphere, WebOTX, Tuxedo, Oracle ASなど

JavaVM、OSのリソース監視

(System Resource Agent / Java Resource Agent)

Windows

Linux

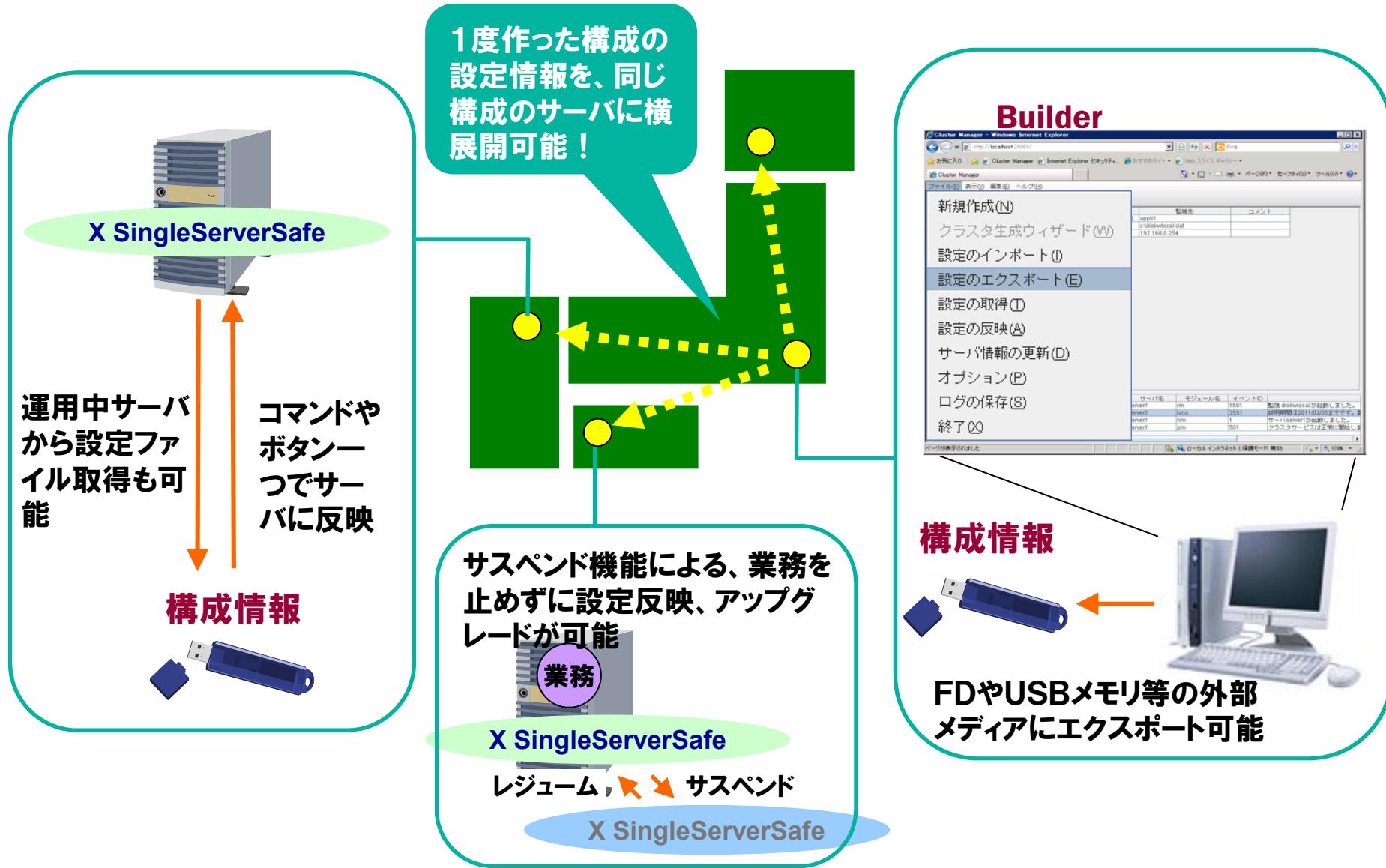
•Java Resource Agent

Java実行環境のリソース監視(Heap領域など)

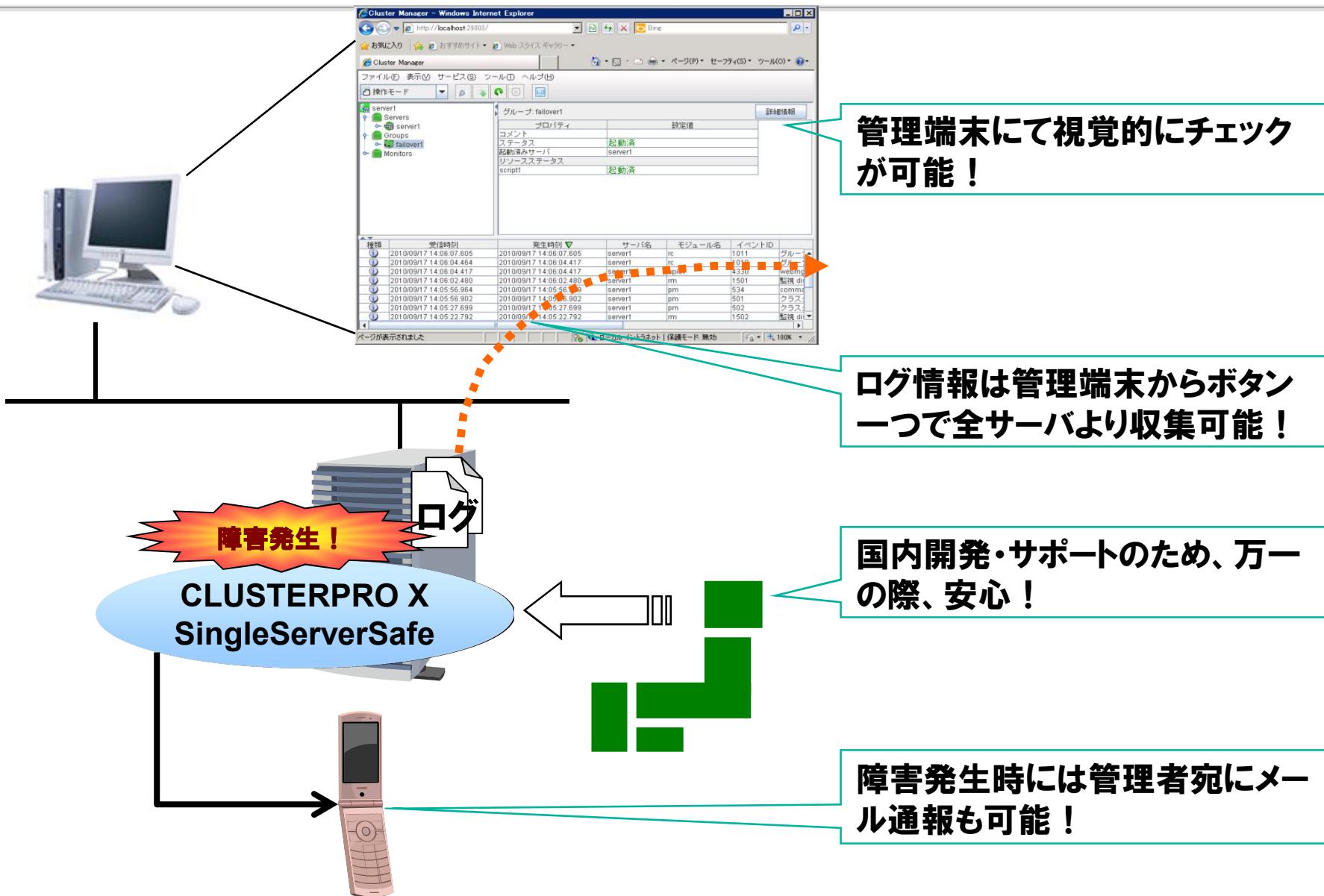
•System Resource Agent

CPU使用率、メモリー使用率、ファイルハンドル数

オフラインで設定情報作成ができ、横展開が容易



障害発生時の通報・サポート



運用面のこだわり

業務の起動・停止順序、異常状態からの回復方法が設定可能！

The screenshot shows a 'Resource List' window with a tree view on the left and a table on the right. The tree view shows a hierarchy: server1 > Servers > server1 > Groups > failover1 > Monitors. The table lists dependencies:

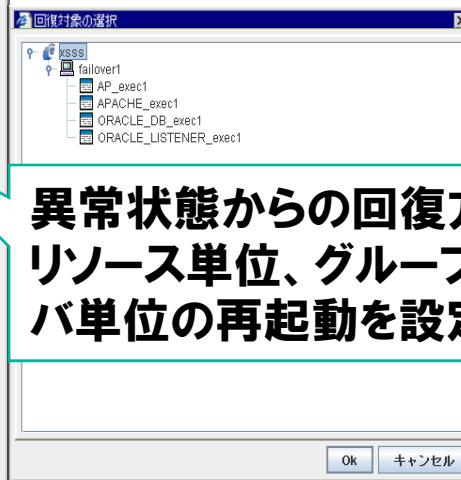
深度	名前	依存リソース名	タイプ
0	ORACLE_LISTENER_exec1	none	
1	ORACLE_DB_exec1	ORACLE_LISTENER_exec1	execute resource
2	AP_exec1	ORACLE_DB_exec1	execute resource
3	APACHE_exec1	AP_exec1	execute resource

業務を構成する単位でグループ化し、起動と停止順序を設定

OSのサービスマネージャ（Windows）、initスクリプト（Linux）での起動順序とは異なり、業務観点での構築が可能

The screenshot shows the 'Recovery Step' configuration dialog. It includes sections for 'Recovery Action' (set to 'Custom'), 'Recovery Target' (empty), 'Maximum Recovery Count' (set to 3), 'File Recovery' options (radio buttons for 'File Recovery Before Start' and 'Stable Recovery Server'), 'Maximum File Recovery Count' (radio button for 'Match Server'), 'Script Execution' options (checkbox for 'Execute Script Before Final Action'), and 'Final Action' (set to 'Stop Cluster Service and OS Reboot').

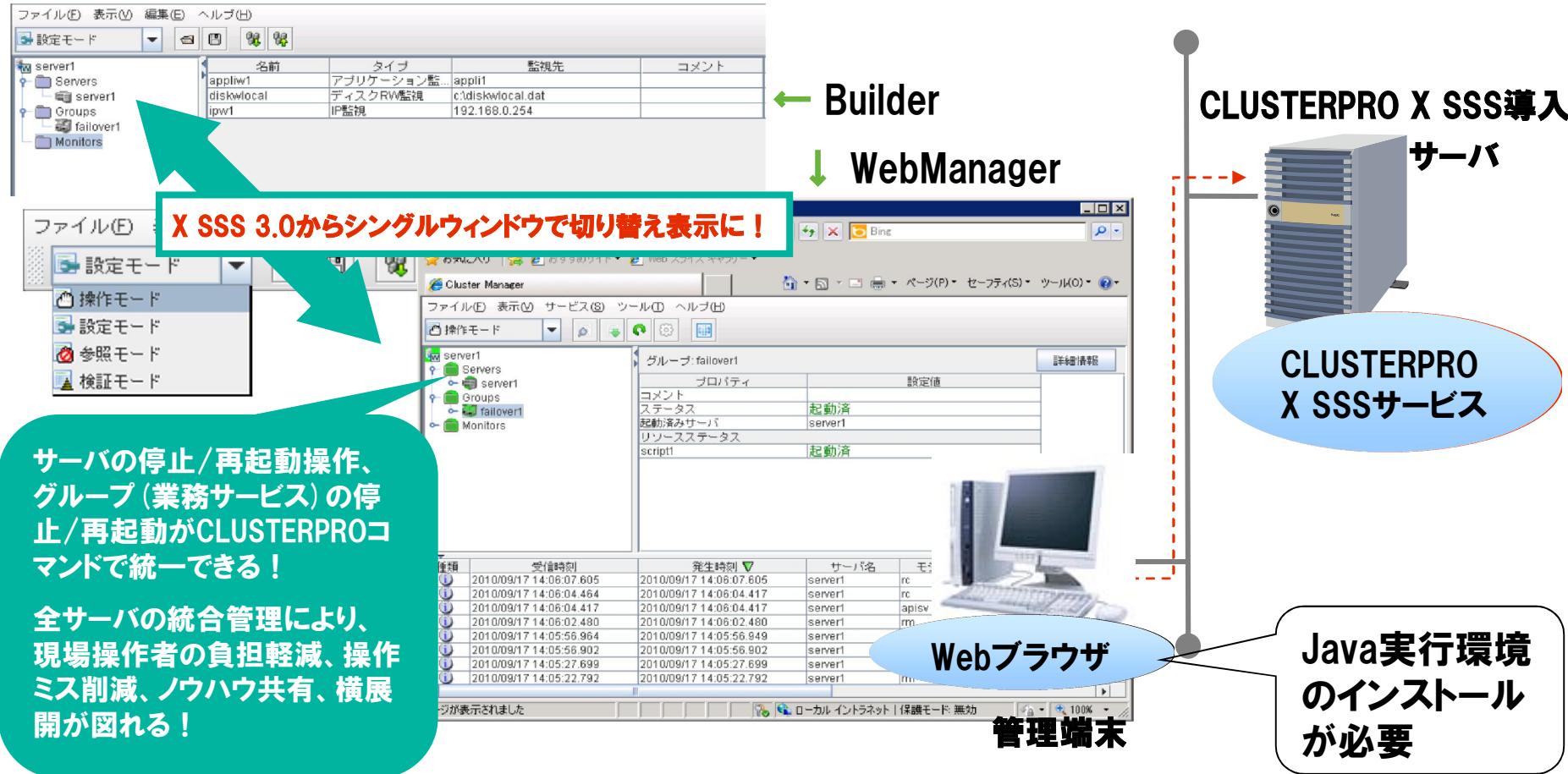
異常状態からの回復方法として、リソース単位、グループ単位、サーバ単位の再起動を設定



操作方法

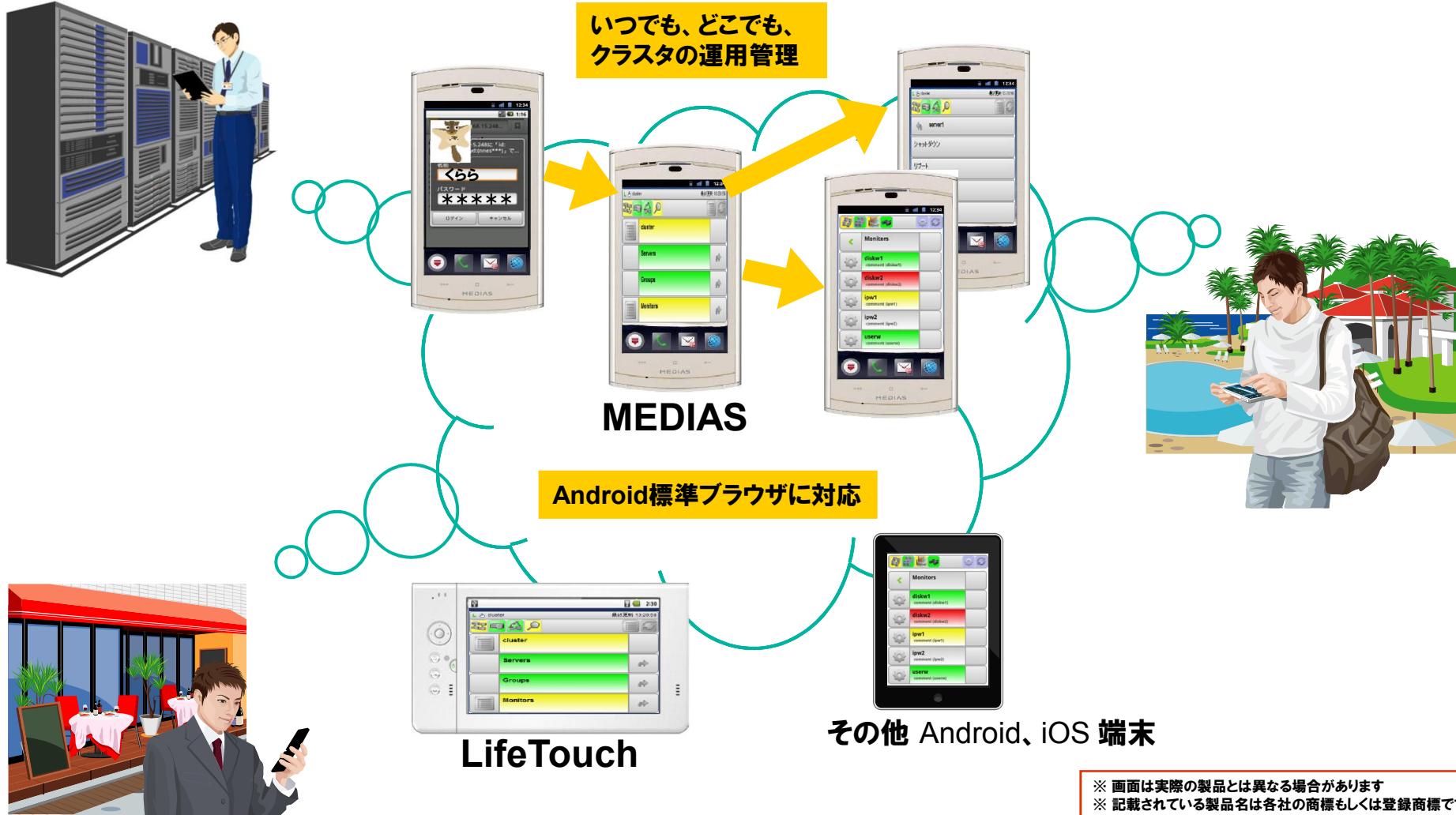
環境構築はCLUSTERPRO Xと同じBuilderを使用

サーバの状態監視、業務グループの起動/停止及び、動作ログの収集はWebManagerから行える。CLIによる操作も可能！



スマートフォン＆タブレット対応

管理端末を常設せずに、Android端末から運用管理が可能に！

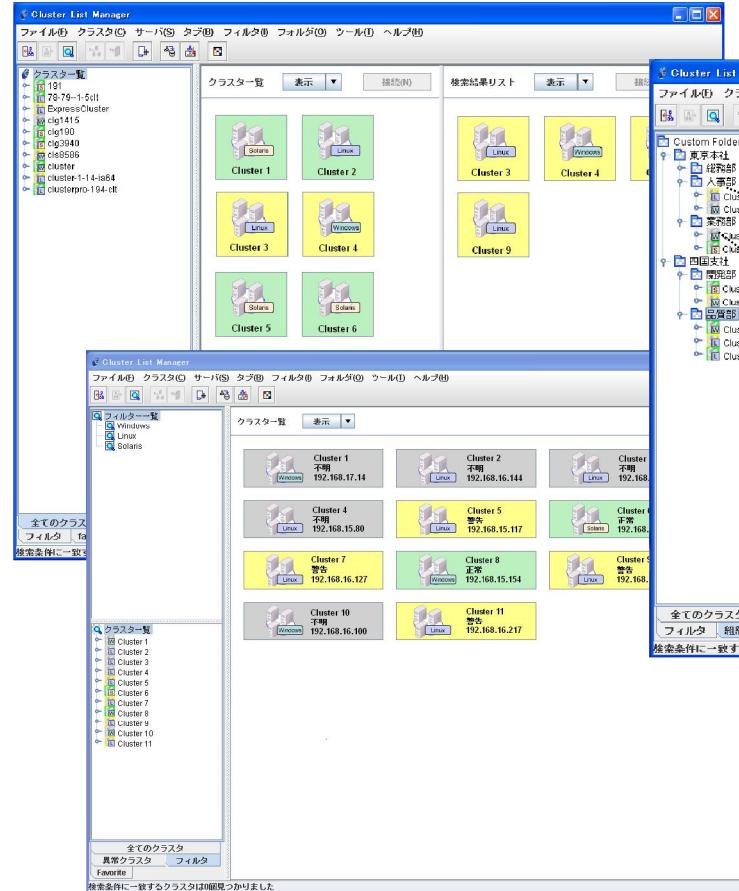


※ 画面は実際の製品とは異なる場合があります
※ 記載されている製品名は各社の商標もしくは登録商標です

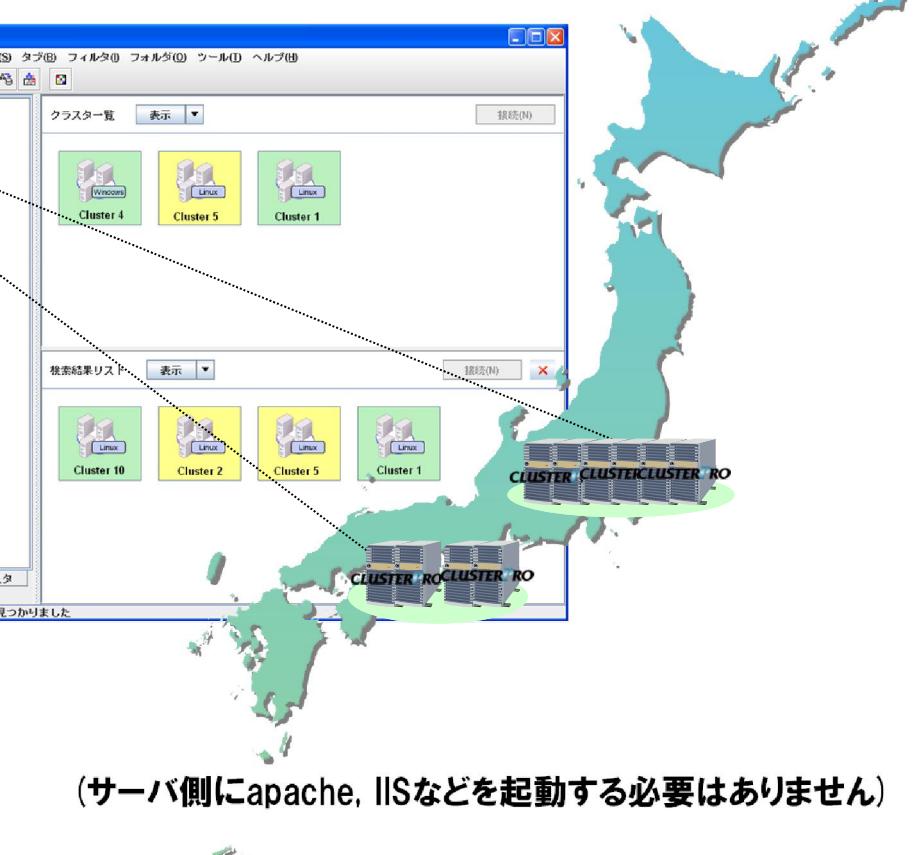
統合マネージャでサーバの状態が一目瞭然

LAN内に存在するSingleServerSafeとクラスタ構成の両方を状態参照可能
個別のWebManagerを起動させることが可能

検索フィルタで対象ノードを迅速に発見



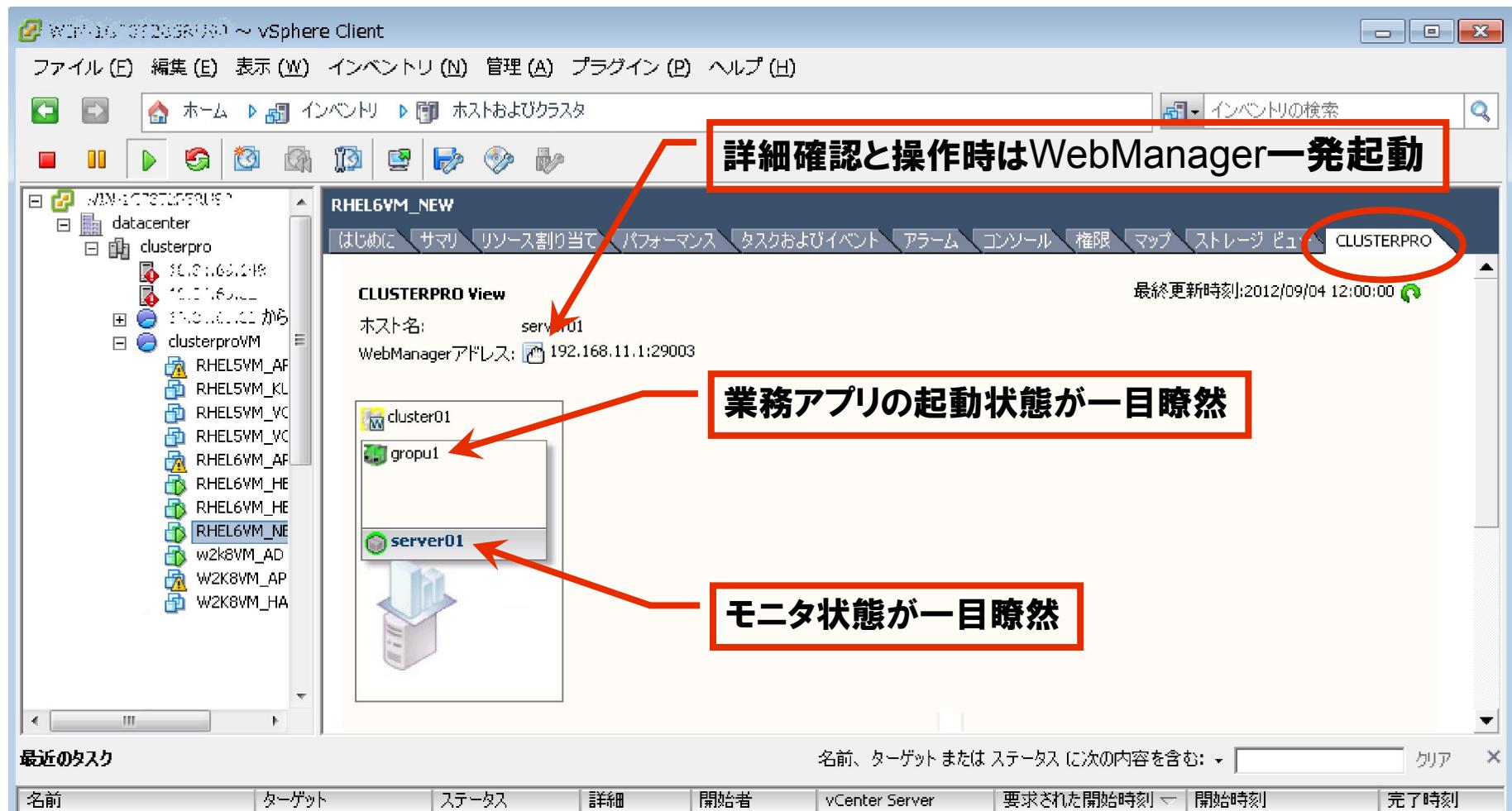
グループ表示フィルタで業務単位で対象クラスタを選択表示が可能



VMware vCenter Server にCLUSTERPRO Viewを追加

業務システム(仮想マシン)の実行状態を集中管理可能に！

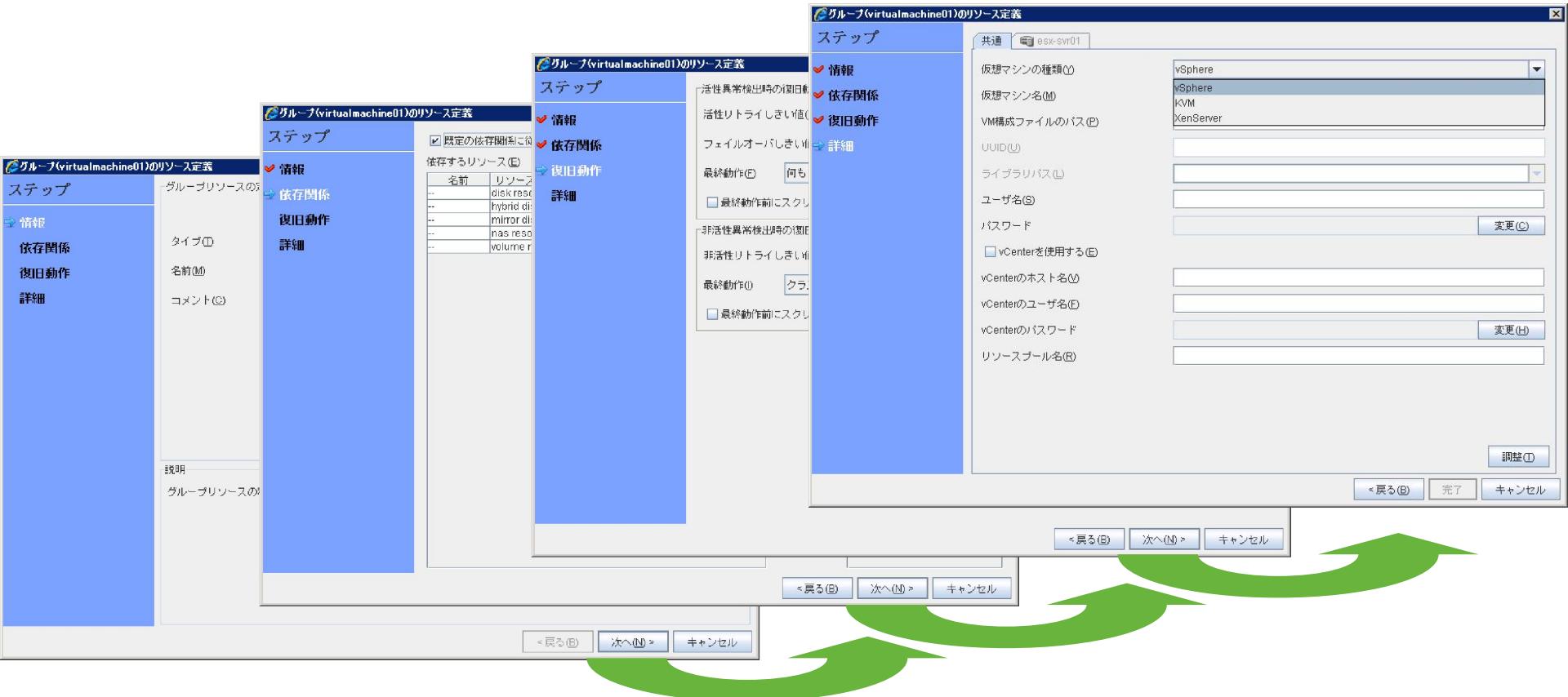
お客様の
声を反映



仮想マシン・リソースで仮想化基盤への導入が容易

仮想マシンの起動・停止・監視が簡単に設定可能に！

● GUIのウィザード形式にしたがって必須の項目を入力するだけ

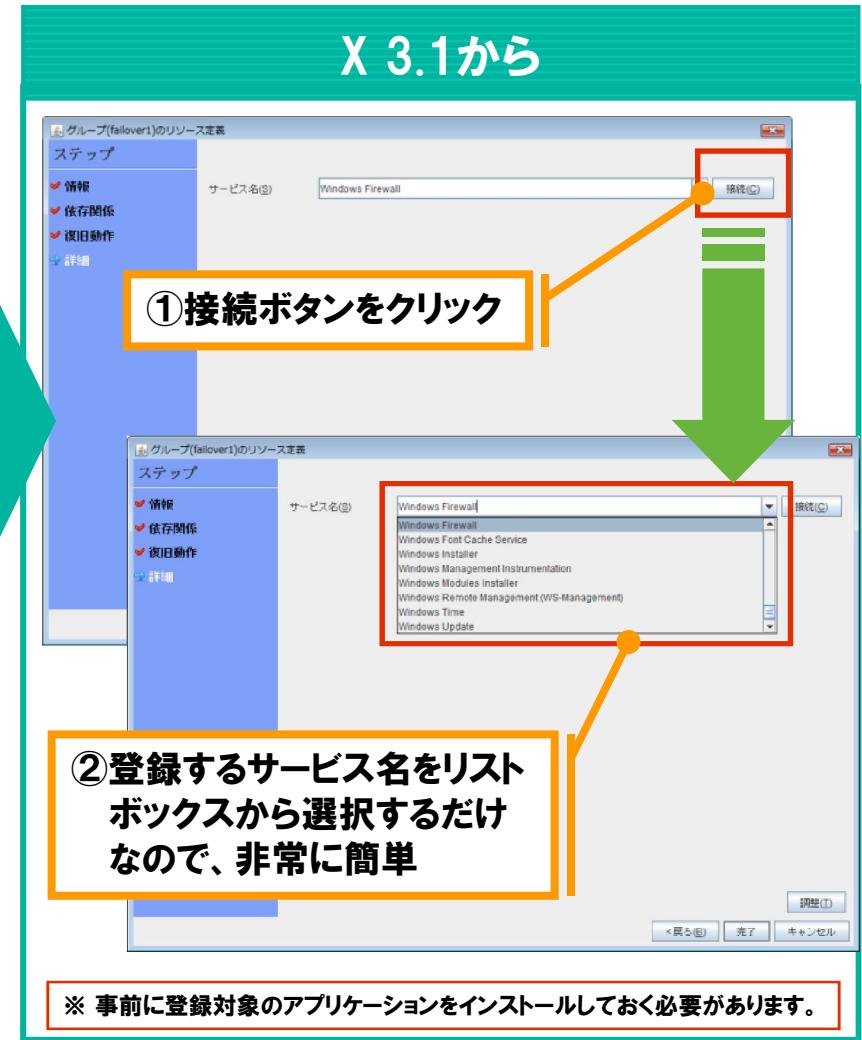
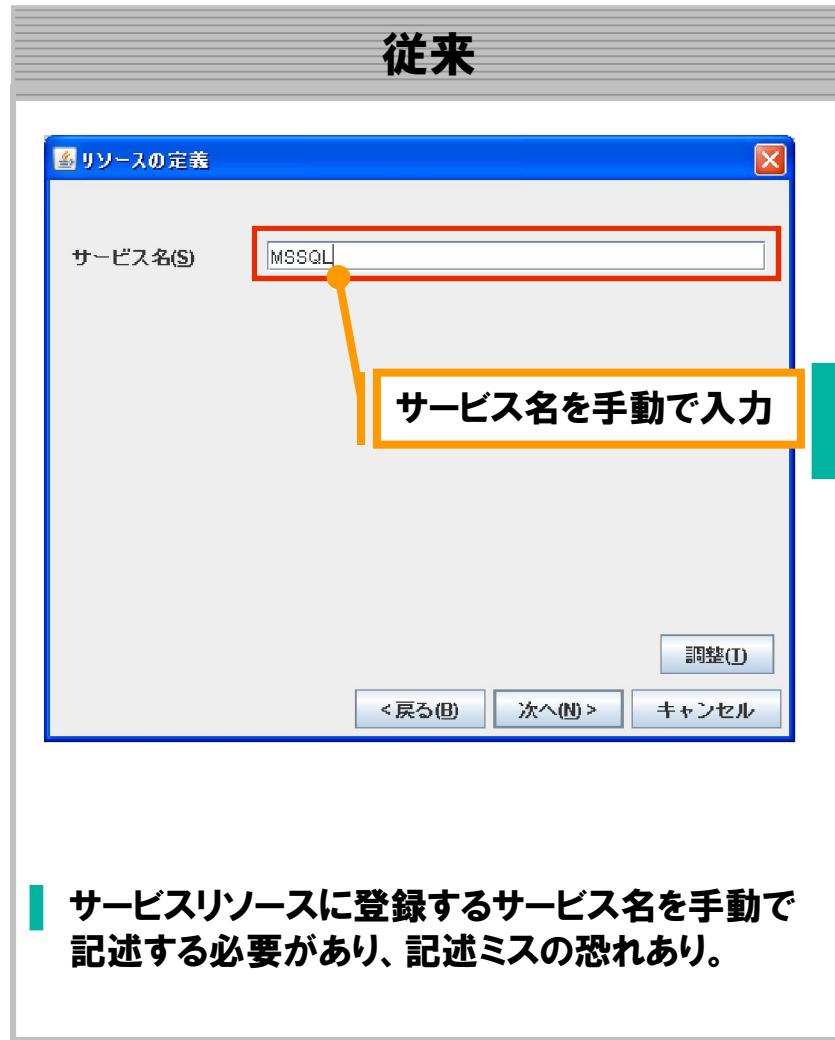


一台の仮想化基盤に仮想マシンを集約し、HA機能も付加できる

サービスリソース (Windows) の設定簡易化

お客様の
声を反映

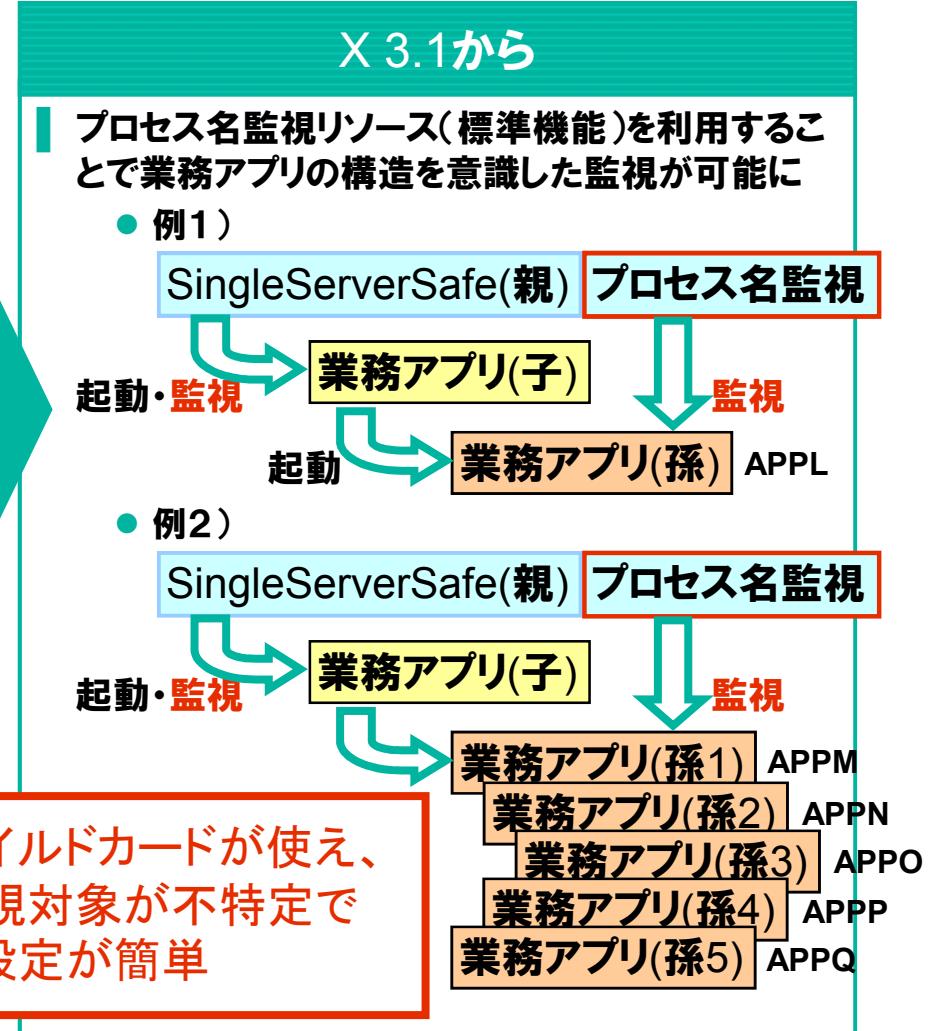
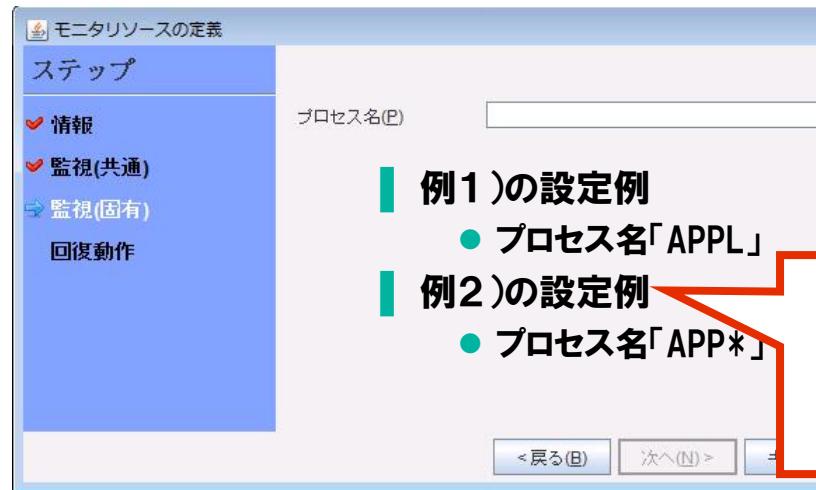
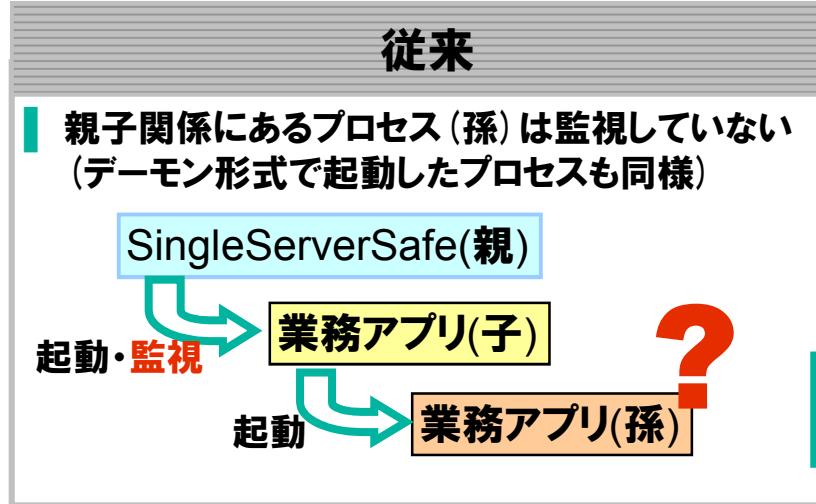
Windows OSのサービス管理に登録されている一覧から選択可能に！



お客様の
声を反映

プロセス名監視機能を追加

SingleServerSafeの親から見えない孫プロセスまで監視可能に！

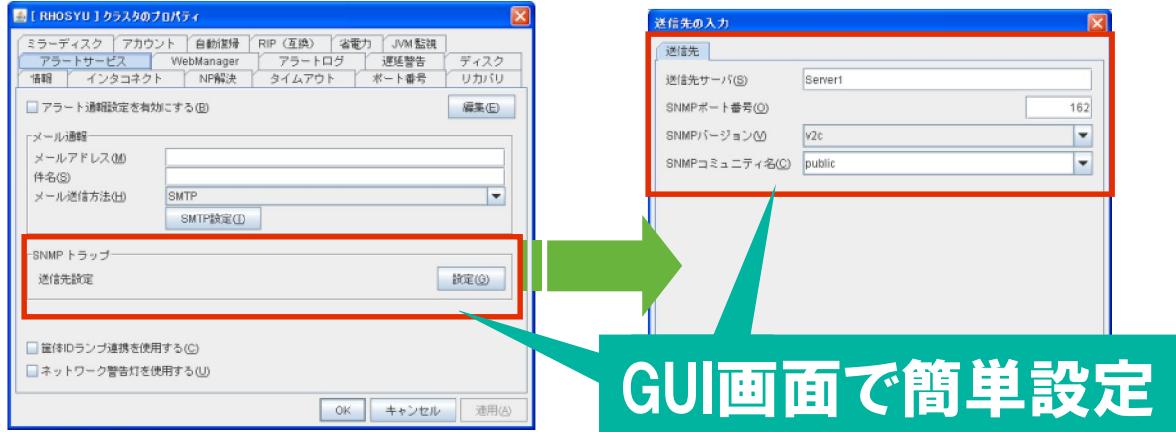


お客様の
声を反映

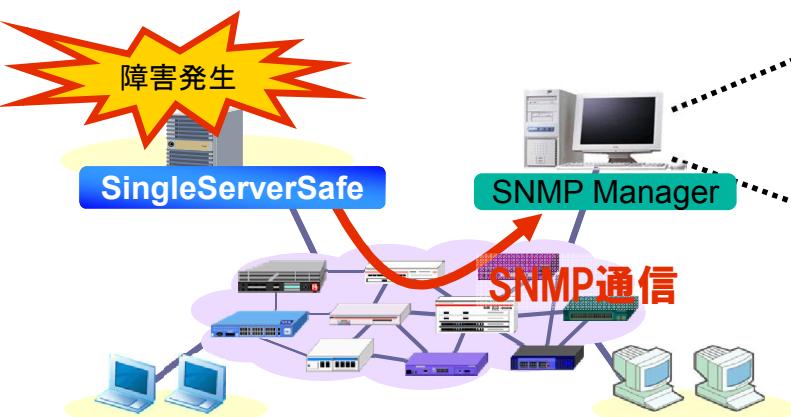
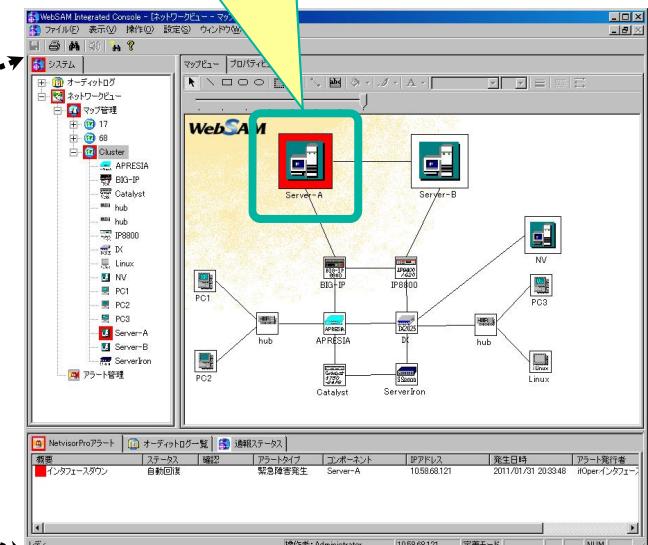
運用管理ソフト連携 (MIB対応)

SNMP Managerでクラスタ管理を可能に！

- ネットワーク機器等含めた統合管理が可能



SingleServerSafe
のSNMP通信から
得た情報の状況
を表示

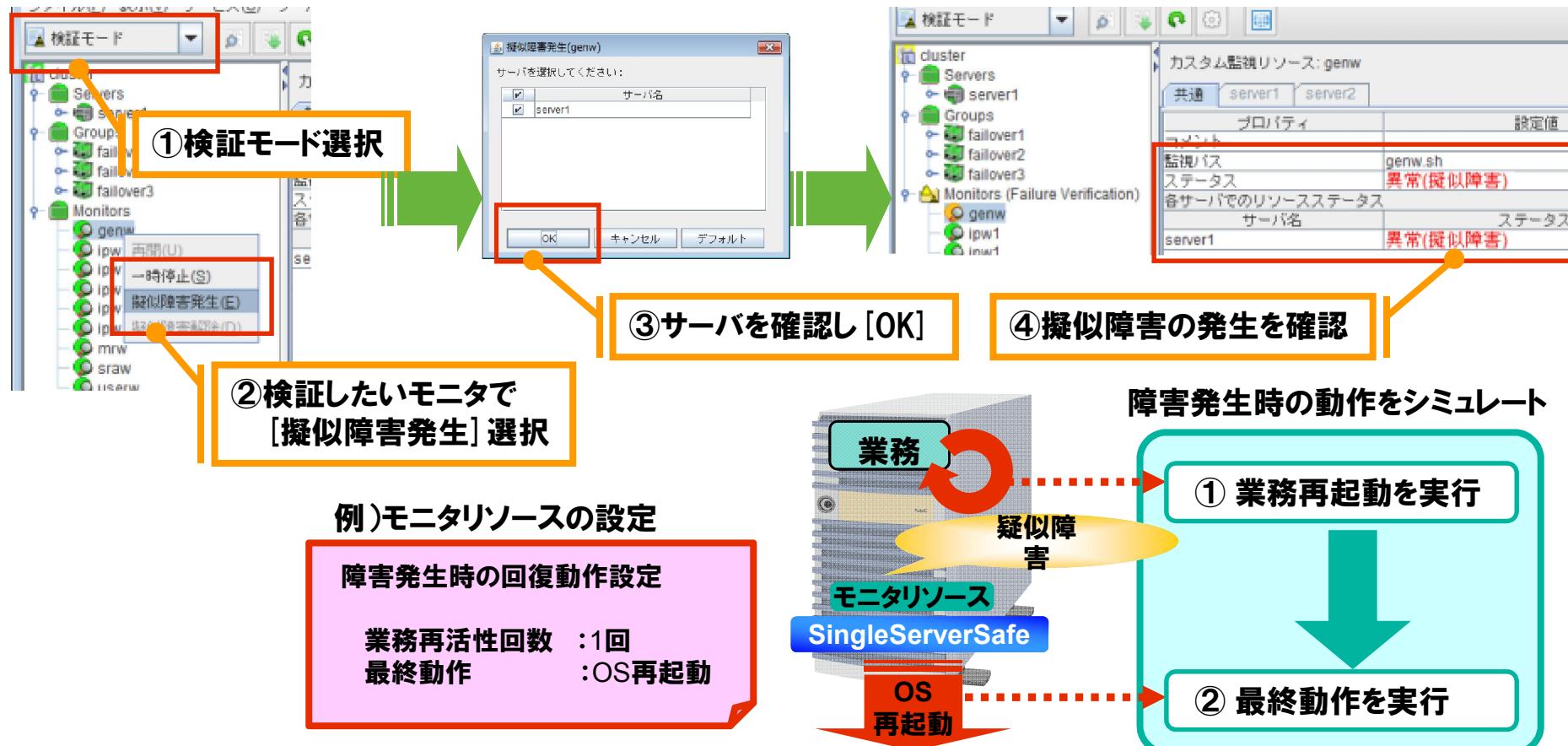


お客様の
声を反映

運用性向上 – 検証モード機能の搭載

擬似障害評価が可能に！

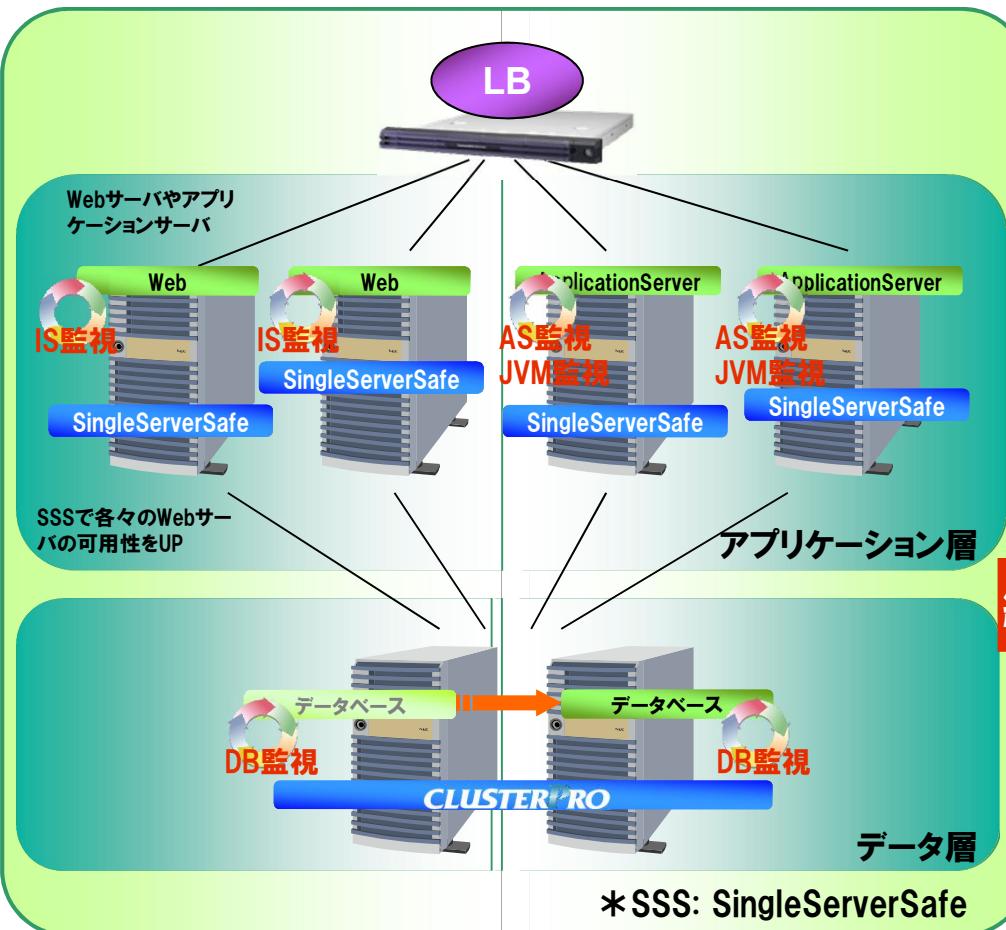
- 設定ミスの早期発見、設定したモニタリソースの回復動作の確認ができる
- WebManagerより簡単に擬似障害発生が可能



利用シーン

Web3階層システムの信頼性向上ソリューション

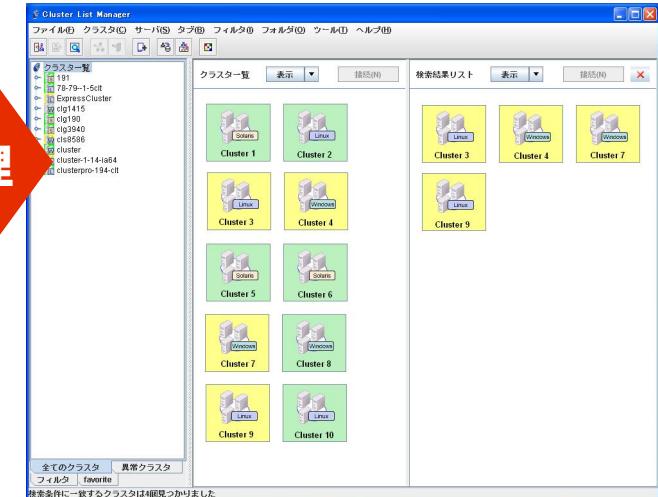
ロードバランサ配下のシステムもSingleServerSafeで統合管理可能に



ロードバランサ配下のWebサーバやAPサーバに、CLUSTERPRO X SSSを導入し、DBサーバにCLUSTERPRO Xを導入することでシステム全体の可用性を向上。

システム全体を統合管理

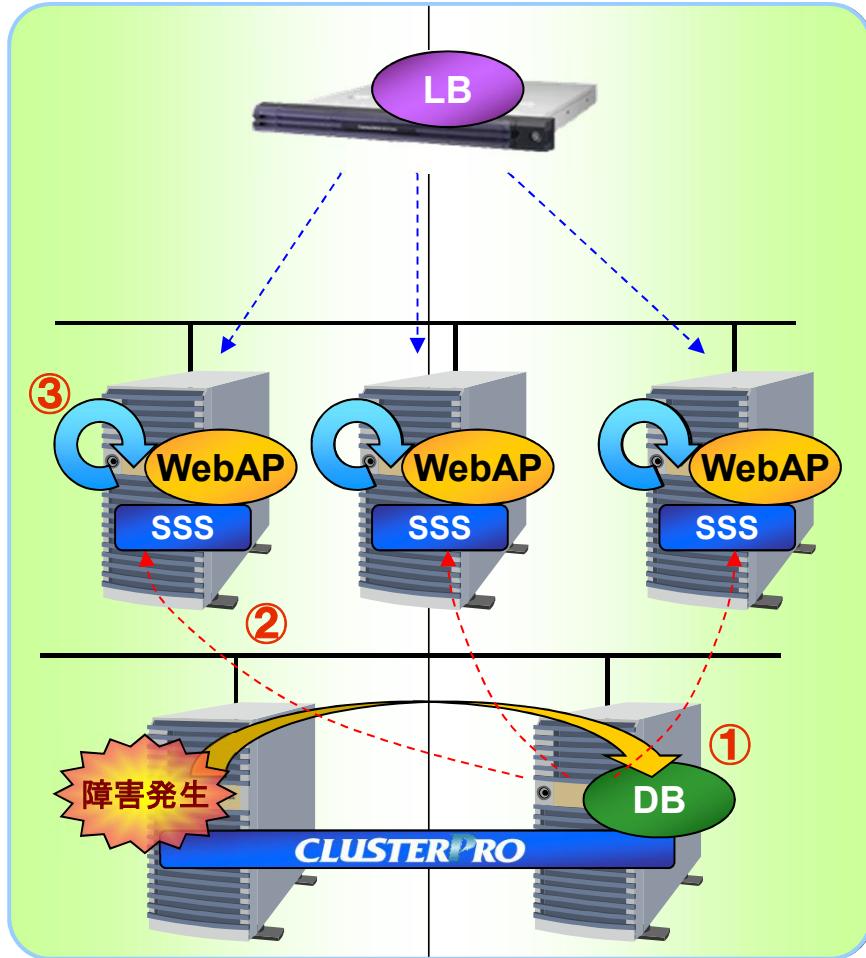
CLUSTERPRO X 統合マネージャにより、異なる用途、異なるOSで構成されたシステム全体を管理可能。



システム全体の可用性、運用性の向上が可能です！

クラスタ間の連携機能により、業務連動できて便利

複数のクラスタおよび、シングルサーバの間で連携した自動アクションが可能



連携例)

Webアプリケーションサーバへのアクセスをロードバランシングされたシステム。WebアプリケーションサーバはDBを利用。

Webアプリケーションサーバ

- SingleServerSafeで可用性向上
- DBサーバ
- CLUSTERPROでクラスタリング

クラスタ間連携機能

- ① DBサーバに障害が発生しフェイルオーバ
- ② DBサーバがフェイルオーバしたことを、Webアプリケーションサーバへ通知
- ③ WebAPサーバは業務APを再起動

→ DBサーバが待機系に切り替わったことによって発生する通信タイムアウトを待たず、より早く確実に業務APを再起動できる！

Java Resource Agent 利用シーン

Java仮想マシンの監視によりアプリケーションサーバ~~部~~全体で性能を維持する

■ SingleServerSafeでロードバランサ配下のサーバ障害をいち早く検出。

- サーバ障害から自動で回復し、ロードバランスによる処理性能を最大限に発揮。

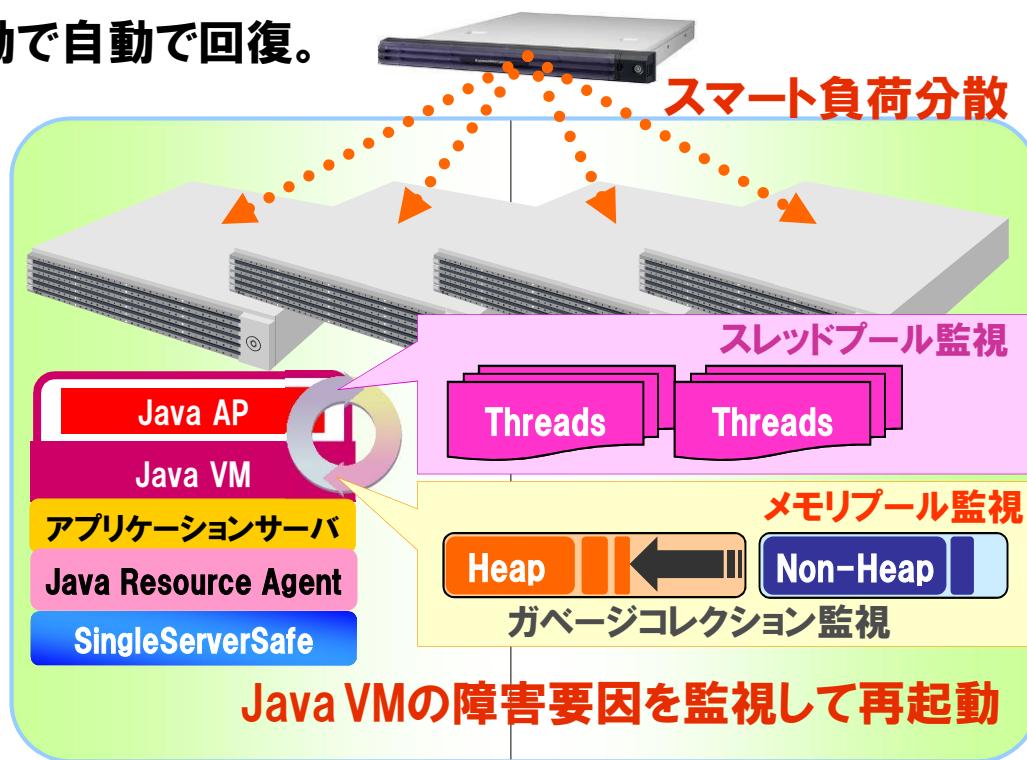


■ Java Resource Agentによりアプリケーションサーバの性能低下を検出可能に。

- サーバの性能低下もサービス再起動で自動で回復。

ロードバランサからの監視ではアプリケーションサーバの性能低下に気づけず、システム全体が徐々に性能低下する。

性能低下がみられるサーバのサービス回復をも自動化。完全ダウンする前に健全性を保ち、システム全体の業務のレスポンス低下を防止。



System Resource Agent 利用シーン

システムリソース障害を予知できることで安定稼動に貢献！

システム全体のリソースを監視
トラブルを事前に検出

システムリソース
・CPU
・メモリ
・etc.

近い将来
リソース不足になりそう

現在 未来

プロセスごとのリソース※を監視
異常を検出するとアラート

小 リソース使用量 大 アラート

プロセス



プロセス



プロセス



リソース
利用状況

System Resource Agent

SingleServerSafe

リソース
利用状況

System Resource Agent

SingleServerSafe

システムリソースの情報を蓄積
サイジングやレポートに活用



※収集した情報はCSV形式で出力しますので、
表計算ソフトなどで自由に加工いただけます。

※予兆検出は、リソース使用量の増分等を監視し、
設定された条件を満たすと異常（業務停止の予兆）と判断します。

※ CPU/メモリ/仮想メモリなど

仮想化環境に対応し、CLUSTERPRO Xとの連携も可能

ゲストクラスタ型

特長：ホストクラスタ型に比べフェイルオーバが速い

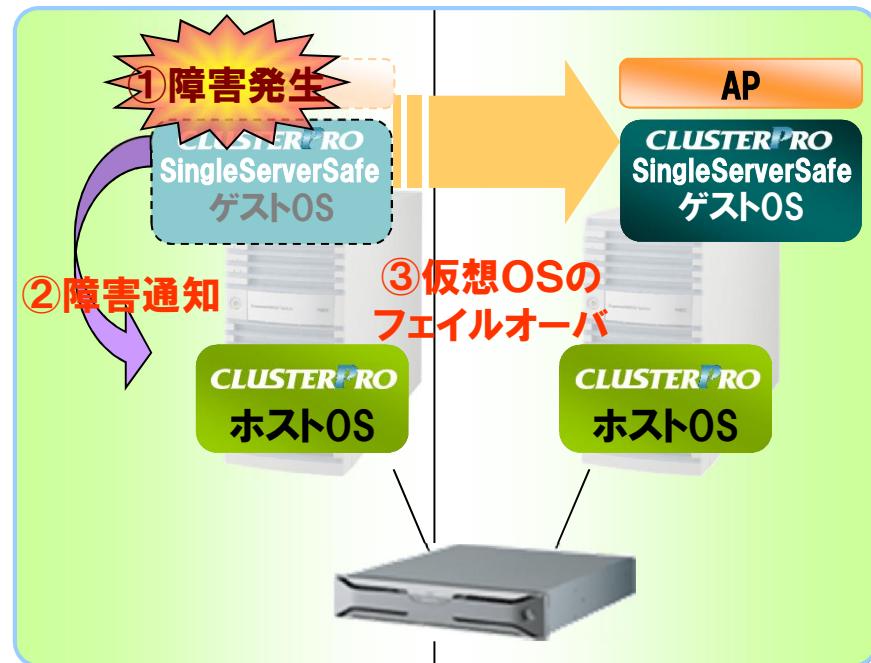
- ① ホストOSで物理障害発生
- ② ホストOSで検出した障害を、ゲストOSへ通知
- ③ ゲストOS上で動作している業務のフェイルオーバ



ホストクラスタ型

特長：ゲストクラスタ型に比べ安価に高可用化できる

- ① ゲストOSでアプリケーション障害発生
- ② ゲストOSで検出した障害を、ホストOSへ通知
- ③ ゲストOSをまるごとフェイルオーバ



対応仮想化ソフト

VMware vSphere 5.x / 4.x ← KVM

Windows 2012 R2 / 2012 / 2008 R2 Hyper-V

XenServer 5.6 / 5.5

IBM PowerVM

CLUSTERPRO

システムをウィルスの脅威から守る！

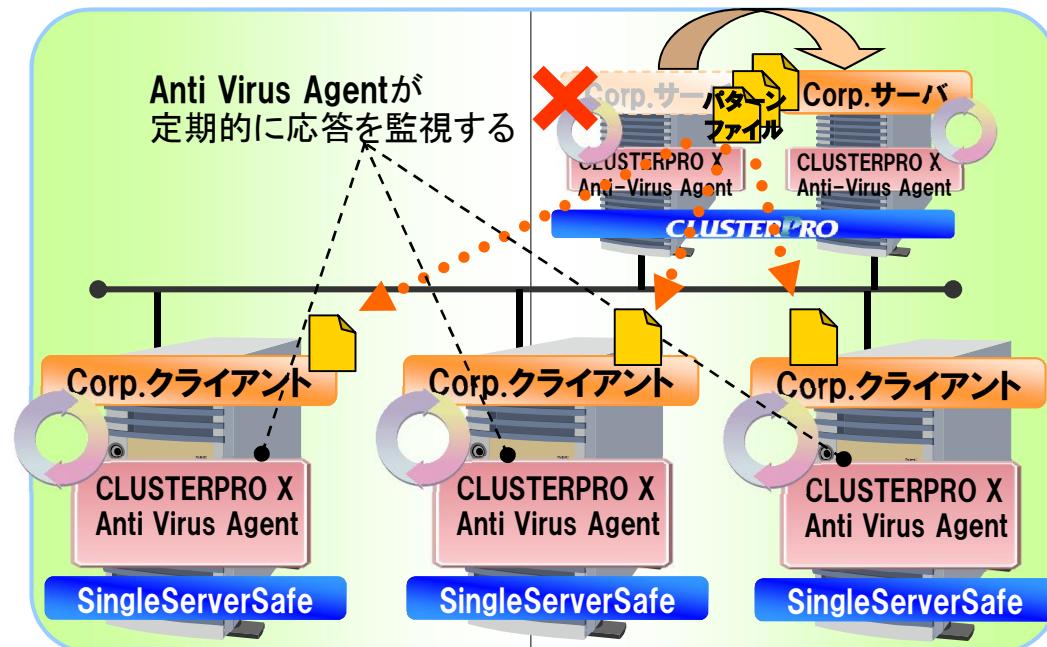
Anti-Virus Agentにより、システムをウィルスの脅威から守る！

サポート製品：トレンドマイクロ社『ウィルスバスターCorp. 10.5 および 8.0 SP1 パッチ1』

- Anti-Virus Agentにより、Corp.クライアントの状態を監視。
サービス状態だけでなく、ハングアップも検出し、サービスを再起動。
- Corp.サーバとの通信も監視し、確実にパターンファイルの配信を受け取ることが可能。
- Corp.サーバはCLUSTERPRO Xにより二重化する構成を推奨。

アンチウイルスソフトで障害が発生すると、パターンファイルの取込み等が失敗し、ウィルス感染する危険性が高かった

より強固なウィルス対策システムでの業務実行が可能に！



製品ラインナップ

for Windowsラインナップ

CLUSTERPRO X (クラスタ)と同じオプションが使える！

型番	製品名	ライセンス	希望小売価格 (円・税抜)	概要
UL1397-761	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 3.2 for VM	1ノード※	100,000	障害監視・障害復旧によりシングルサーバの可用性を向上(※仮想マシン専用ライセンス)
UL1397-701	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 3.2	1CPU	100,000	障害監視・障害復旧によりシングルサーバの可用性を向上
UL1397-711	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 3.2	2CPU	200,000	障害監視・障害復旧によりシングルサーバの可用性を向上
UL1276-706	CLUSTERPRO X Database Agent 3.2	1ノード	150,000	データベースサーバサービスの監視を強化するオプション
UL1276-707	CLUSTERPRO X Internet Server Agent 3.2	1ノード	150,000	インターネットサービスの監視を強化するオプション
UL1276-708	CLUSTERPRO X Application Server Agent 3.2	1ノード	150,000	アプリケーションサーバサービスの監視を強化するオプション
UL1276-709	CLUSTERPRO X Anti-Virus Agent 3.2	1ノード	150,000	アンチウィルスソフトウェアの異常を監視するオプション
UL1276-70A	CLUSTERPRO X Java Resource Agent 3.2	1ノード	150,000	Java VMリソースを監視するオプション
UL1276-70B	CLUSTERPRO X System Resource Agent 3.2	1ノード	150,000	システムリソースを監視するオプション
UL1276-705	CLUSTERPRO X Alert Service 3.2	1ノード	100,000	障害発生時にメールで通知可能にするオプション
UL1397-002	CLUSTERPRO X SingleServerSafe アップグレードライセンス	2CPU	400,000	X SSS(2CPU)からクラスタ(2CPU)へアップグレードする追加ライセンス

for Linux ラインナップ

CLUSTERPRO X (クラスタ)と同じオプションが使える！

型番	製品名	ライセンス	希望小売価格 (円・税抜)	概要
UL4391-761	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 3.2 for VM	1ノード※	100,000	障害監視・障害復旧によりシングルサーバの可用性を向上(※仮想マシン専用ライセンス)
UL4391-701	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 3.2	1CPU	100,000	障害監視・障害復旧によりシングルサーバの可用性を向上
UL4391-711	CLUSTERPRO X SingleServerSafe 3.2	2CPU	200,000	障害監視・障害復旧によりシングルサーバの可用性を向上
UL4276-706	CLUSTERPRO X Database Agent 3.2	1ノード	150,000	データベースサーバサービスの監視を強化するオプション
UL4276-707	CLUSTERPRO X Internet Server Agent 3.2	1ノード	150,000	インターネットサービスの監視を強化するオプション
UL4276-708	CLUSTERPRO X Application Server Agent 3.2	1ノード	150,000	アプリケーションサーバサービスの監視を強化するオプション
UL4276-709	CLUSTERPRO X File Server Agent 3.2	1ノード	150,000	ファイルサーバサービスの監視を強化するオプション
UL4276-70A	CLUSTERPRO X Java Resource Agent 3.2	1ノード	150,000	Java VMリソースを監視するオプション
UL4276-70B	CLUSTERPRO X System Resource Agent 3.2	1ノード	150,000	システムリソースを監視するオプション
UL4276-705	CLUSTERPRO X Alert Service 3.2	1ノード	100,000	障害発生時にメールで通知可能にするオプション
UL4391-002	CLUSTERPRO X SingleServerSafe アップグレードライセンス	2CPU	400,000	X SSS(2CPU)からクラスタ(2CPU)へアップグレードする追加ライセンス

CLUSTER PRO

<http://jpn.nec.com/clusterpro/>

mailto:info@clusterpro.jp.nec.com

(フル機能が使える試用版をダウンロードできます！)

※WindowsおよびHyper-VはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Citrix XenServerは、Citrix Systems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※VMware vSphereは、米国およびその他の地域における VMware, Inc. の登録商標です。

※LinuxはLinus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、文中の社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

※本製品は改良のため、予告無しに仕様、デザインを変更することがありますので、ご了承ください。

Empowered by Innovation

NEC